

イヒナビ

vol.10

ihinavi

December-2/2024

旭化成ホームズ株式会社
東京法人支店

2024年を振り返る②

2024年は世界規模での温暖化、猛暑や大きな災害から家族を守るには？

異常気象に左右されない家づくり

半世紀後も続く耐久型断熱に注目

2024年8月以降続く首都圏での連続強盗に備える

今からできる防犯対策、教えます

こんな一工夫で防犯対策が可能

【2024年を振り返る②】

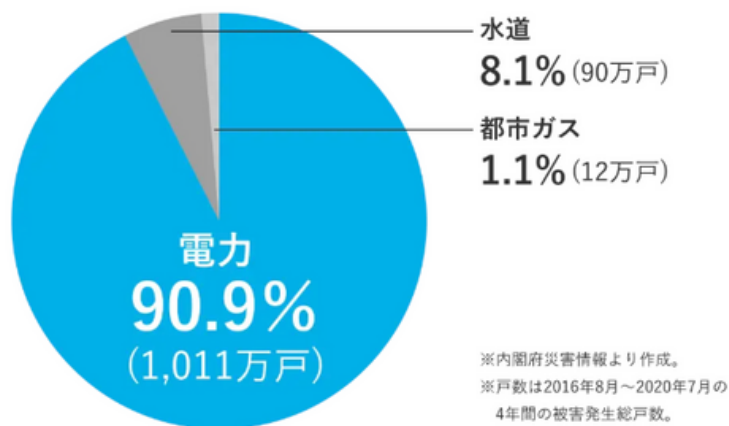
2024年は世界規模での温暖化、猛暑や大きな災害から家族を守るには？

異常気象に左右されない家づくり

異常気象が続く中、大災害にあったら？？？

2024年は世界規模で温暖化が加速し、日本も猛暑が続き、そして11月になっても夏日になるなど、今まででは想像できない気候が続きました。まるで熱帯雨林気候のようで気温の上昇に、ゲリラ豪雨、そして秋を感じる間もなく冬へ移り変わりました。例えば、大災害が猛暑に発生したら、どうなるのでしょうか？電気やガスがストップし、エアコンなども使えない状態が続いてしまいます。

災害時のライフライン被害の9割は停電



ライフライン被害の9割が停電であるというデータが出ています。また災害規模が大きければ大きいほど、ライフラインの復旧に時間がかかります。太陽光パネルや蓄電池を搭載した住まいであれば、万が一の災害時も、自宅で電力を使用することが可能です。特に猛暑の時に災害が発生してしまうと熱中症の危険も高まります。

耐久型断熱に注目！

また、今後も続くと予想される異常気象に備えるために、耐久型断熱にも注目していただきたいと思います。高性能断熱材ネオマフォームとALCコンクリート・ヘーベルの二重の断熱構造のため、室内の熱を逃がさないのので、エアコンで涼しくなった家の中の気温が外気に影響されにくくなります。



STANDARDS

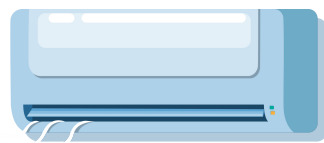
万が一の時も電気が使える喜び！

ヘーベルハウスの戸建住宅は 太陽光発電が標準化

※原則、標準搭載にてご提案します。

ZEH住宅の観点からもおすすめです

夏には、温暖化の加速で、エアコンが必須な時代となりました。真夏にライフラインがストップしたとしても、ヘーベルハウスの戸建住宅であれば太陽光発電が標準化しているので安心です。また今後は、ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）住宅の普及が進みますので、その観点からも太陽光発電や蓄電池は、ぜひ取り入れた住宅を考えていただきたいと思います。



異常気象から家を守る耐久型断熱

また、太陽光パネルや蓄電池で災害時に電気が使える状態であったとしても、電気は大切に使っていきたいものです。ヘーベルハウスの耐久型断熱は、断熱性能を維持し続ける旭化成独自の素材なので、断熱効果が半世紀も続きます。



小さい子どもが
いるから万が一災害が
あっても、自宅で避難
したいから安心ね

ZEH住宅だと
補助金も出るみたい
だからローンの
足しにもなるね

真夏に大災害が
あったら不安だったが
自宅で発電できるのは
嬉しいことだね



ヘーベルハウスは災害に強く そして在宅避難しやすい家づくりをご提供しています



TOTAL RESILIENCE

在宅避難や健康維持にもつながる
エネルギーの自給自足



太陽光発電システム

災害時に電力供給がストップしても、太陽光発電システムなら自家発電が可能。照明器具・テレビ・炊飯器やスマホの充電など、生活に最低限必要な家電・機器を使用することができます。



蓄電池

太陽光発電システムと組み合わせたマルチシステムを採用することにより、太陽光で発電した電力をムダなく使用。平常時は電気料金の節約に役立ち、災害時など停電になった時には非常用の電源として活躍します。



こんな一工夫で防犯対策が可能！

今からできる、防犯対策教えます



相次ぐ強盗事件から家族を守る家づくり

2024年は首都圏を中心に強盗事件が相次ぎました。そして、実行犯は闇バイトで募集され、簡単に犯罪に手を染める若者も増えています。そのため、いつ強盗に入られるか不安になった一年だったと思います。今回は、今からできる防犯対策のポイントをお伝えします。また、私たちヘーベルハウスでは、防犯対策を施した家づくりのご提案もしているので、ご紹介したポイントの他にも対策を施した安心して暮らせる家づくりをご案内いたします。各担当までお問い合わせいただければと思います。

侵入させないポイント① 仕切り戸を設置する

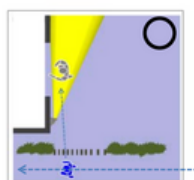
×：どこまででも入れる？ ○：仕切り戸あり＝入りにくい



このように仕切り戸をつけるだけでも侵入しにくくなります。この仕切りから中へ入ると「不自然」という状況を作り仕切りを乗り越える＝「侵入者」とみなされる ⇒ためらわずに110番通報することができます。

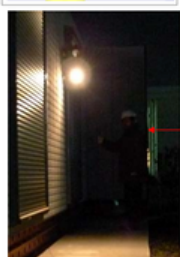
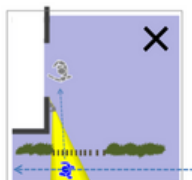
侵入させないポイント② 照明が照らす方向を調整

順光
・照明直下



侵入者がよく見える

逆光
・照明奥



侵入者はほとんど見えない

これから家を建てる方でなくても、今お住まいの家でもできる対策です。侵入する方向に照らすのではなく、敷地の奥を照らすように調整をしてみましょう。不審者が侵入する恐れがある扉や窓の下が明るくなるようにしておくだけでもこれだけの違いがあります。

ヘーベルハウスは防犯面でも 安心してお住まいいただける家をご提案します

DATA

敷地の防犯環境設計

ゾーンディフェンス

敷地内を見通しの悪い「ケアゾーン」、見通しのきく「プライベートゾーン」、来訪者が立ち入れる「アクセスゾーン」に分類して各ゾーンに合わせた防犯対策を提案。不審者が入りづらく、見つかりやすい設計で狙われにくい環境をつくります。



DATA

開口部の強化

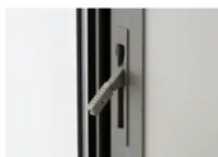
ハードディフェンス

侵入盗の約7割は5分以内に侵入ができないと犯行をあきらめると言われています※。1階の手の届きやすい開口部に、5分間の侵入抵抗能力を持つ「防犯性の高い建物部品（CP部品）」をご用意。
また、高窓や人が通り抜けられない大きさのスリット窓では被害が起きておらず効果的です。

※(財)都市防犯研究センターの報告書より



CP部品：一定時間以上の侵入抵抗能力があると評価された建物部品に、CPマークが付きます。



DATA

用心する習慣をサポート

ソフトディフェンス

戸建て住宅の侵入被害の6割以上が、不在時を狙われた空き巣です※。留守でも在宅を装える「留守番タイマースイッチ」や「外出時の照明点灯」「外出時のシャッター閉め」など生活習慣の中で狙われるスキをつくらないようにします。

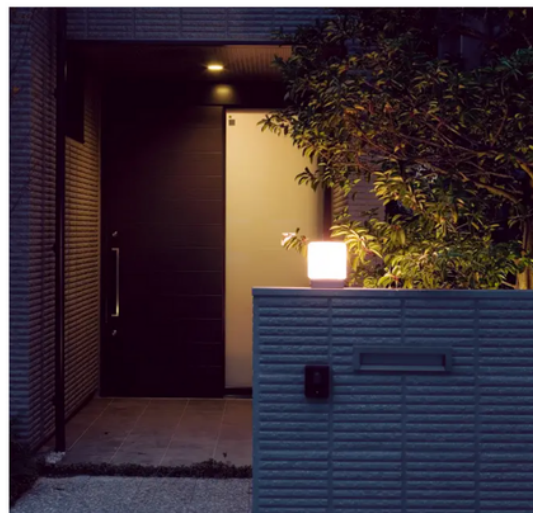
※警察庁「令和2年の犯罪」より

■居るふり点灯概念図

照明がついていないと、夕方以降、真っ暗な室内で留守とわかる



玄関の照明をつけ、2階の室内を点灯しておく





家族で安心して
暮らせる家

ヘーベルハウスで
叶えませんか？



＜編集後記＞

今年の8月からイヒナビ内にて特集をスタートさせていただきました。こちらでは、家を建てることをご検討されているお客様に少しでもお役に立つようなデータや情報を提供しております。お読みいただいた皆様、ありがとうございました。

2024年は、家づくりをご検討いただいている皆様にとって、色々な懸念点が生まれた年だったのではないかと感じています。異常気象や首都圏での連続強盗事件など、不安を抱く出来事が多かったからこそ、家族と過ごす家は、災害面でも防犯面でも対策が施された家を求められている方が多いと感じました。

実際に家づくりのお手伝いをさせていただくためのお打ち合わせでは「安心や安全を考えた家にしたい」「経済が不安定だからこそ、資産価値が残る家を建たい」と考えられているお客様が大変多くいらっしゃいました。

私たちは、LONGLIFEをテーマに、家づくりだけではなく、その先のお客様の未来にもサポートできるような仕組みを整えています。災害にあった場合はすぐに私たちが駆けつけて復旧をサポートします。60年にわたる長期的なシステムやメンテナンスで大切な家の資産価値を守っていきます。

是非、私どもに小さなことからご相談いただければ幸いです。